



石場山城



山外方向（荒山城側）に土塁の残る主郭

所在地：石川県鹿島郡中能登町石動山、富山県氷見市小滝

別称：柴峠城、柴峠砦、石場山砦

立地：尾根頂部、標高513m

城主：石動山天平寺、前田利家

時期：戦国

見学時間（参考）：約30分

石動山七口のひとつ、荒山道と角間道の間道の合流点に位置する。「石動山山内絵図」に「大志者峠」とある場所で、この辺りが太閤記に登場する「柴峠」と考えられる。



林道城石線から旧荒山道を歩く登城口

天正10年（1582）6月、本能寺の変後の混乱を利用して、畠山旧臣の温井氏・三宅氏ら上杉方が能登奪還を図り、石動山衆徒を味方に荒山城や石動山に立て籠もる。前述の太閤記では、前田利家が石動山と荒山城の分断を図るため、柴峠に陣取ったとしている。主郭は前後（東・西）を堀切で遮断し、山外側に土塁を設け、南直下に通る荒山道に横矢が掛かる。主郭と堀切を挟んだ西の郭や東の郭は平坦面が未整形で、築城が途中で放棄されたと推測される状況にある。



主郭の西（山外方向）の堀切



峠道の風情の残る旧荒山道

荒山道が城跡の直下でU字に曲がる谷の最上部の窪地には今も湧水があるそうだ。伝承によれば、石動山の僧般若院快存が戦いに疲れ



自然地形に近い東の郭

てこの地に辿り着き、兜を脱ぎ捨てた。その脱ぎ捨てた場所から水が湧き出たので兜池と呼ぶようになったという。前述の「石動山山内絵図」にも兜池と書かれている。



東の郭から東方に石動山が見える



いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>